

コミティア100おめでとございます♥

100回記念ということでこんな漫画を描いてみました。AIBOを前面に出しておいてなんですが、私はAIBOを持っていません。多分、本物は5/11になってもハッピーバースデーは歌わないと思います。(AIBO初期型の誕生日は1999/05/11だそうです)ロボット好きなのでもし安く手に入れられるならぜひとも欲しいのですが、新品はもう生産終了で、修理用のパーツなんかもう生産していないみたいです。

ここからは、100回記念ということで今までにコミティアで出した本の思い出話をつらつら綴っていきます。

普段、あとがきで読後感を悪くするのが怖くてほとんど書かないでいたのが、代わりにここで話していこうと思います。作品語りなんてナンセンスだ！ って方は、とばしちゃってください。

それではどうぞ！



消えないひかり
40ページ 300円
2010/05/05発行
在庫無し



アナログにしてはトーンとか、色々頑張った方だと思います。やっぱり、何にしてもアナログの方が生きてるっていうか、味がある感じがしますねー。現在は線画だけアナログをスキャンしています。

この作品ではオムニバス形式をとって、主人公をそれぞれ変えて同じ時系列を描いています。この形式は窒息少女でも使いました。

オムニバスは特にくらもちふささんのものが大好きで、それをちょっと意識しつつ描きました。「駅から五分」なんてほんとすごいですよね ああいう話、すごく憧れます。



このサークルでは最初で最後のオールアナログ本です。台詞が手書きで頑張った感がとっても出てます しばらく同人から離れていて、巻末には住所を書くのがあたりまえだと思っていた位だったのでもちろんデジタル原稿だオンライン入稿だなんて思いつくはずもなく、印刷所に直接手渡しにいったら目の前で「原稿をチェックしますね^^」

って言われて原稿を広げられ、黙々と読まれた時は恥ずかしくて消えなくなりました……(笑)

これが18禁本だったらもっと恥ずかしいだろうなあとか考えちゃいました。

ももとは無料配布ではなく200円だったので、一冊も売れなかったために次の参加から無料配布にしました。悲しかった…！これは横に長い変形本となっています。画面としては、四コマの横バージョンって思っていたらイメージできるかと思います。

コピーは秋葉原製作所まで赴いて、学校の帰りにひとりで直行して(後から友達がちょっと手伝いに来てくれました)夜中までもくもくと作業して

ました。
話としては、女同士のどろどろな友情関係について描いたものです。不細工な主人公と綺麗な幼なじみ、という点では窒息少女とつながるところがありますね。

こういう、どろどろな女同士(重要)の友情っていうの、好きです。女って難しいです…



点
無料配布
2010/05/05発行
配布終了



いつも微妙に病んでいる話ばかり描いていたので、健全で、かつ子供視点の話が描きたい!と思い立って作った話です。

トーン処理を初めてデジタルで行った作品でもあります。ものすごく時間をかけた覚えがあります……

自分の中で、この二人の後日談的なものはある程度まとまっていますのですが果たして後日談、というか十年後位の話を描くべきなのかどうか悩んで、やめました。



「おはえにくるまで」

36ページ 200円

2011/05/04発行

在庫無し

でも、またこういうお話は描いてみたいです。子供の世界みたいな。

実はひとつ描きたいものがあるので、そのうち出せたらいいなーって思っています。

その時は絵本っぽい製本に挑戦する予定!



初めて描いた百合?本です。?がつくのは、恋愛色がほとんどないからです。私は百合=GLとは思ってなくて、精神的な結びつきだったりとか、固執だったりとか、そんなものも百合に含まれると思っているので、百合扱っています。

すごく個人的な話になりますが、私が小学生低学年の頃、ひとりの女の子をクラスメイトの女子全員で奪い合ったことがあったんです。

今考えれば「なんで皆で遊ぶという選択肢がなかったんだろう」って笑えてくるのですが、みんながみんな「○○ちゃんは私と遊ぶの!」っていう主張をしていて、結局休み時間を喧嘩して過ごしてしまいました。

この本はそんな本です。



「水に咲く花」

40ページ 300円

2011/05/04発行

在庫無し



どうでもいいことですが、これを描いている時、なぜかあずまんが大王のともちゃんがずっと頭から離れませんでした……

ずっとやりたかった、写真を使った漫画！
現実の世界に広がってくるような漫画を作って
みたくて、写真を使ったり、手紙をおまけでつけた
りしてみました。大変だったけれど、作ってすごく
楽しかったです。

そうそう、この作品で初めて、絵付きでティアズマ
マガジに紹介していただきました！P&Rに感想を
送って下さった方、どうもどうもありがとうございます……！それはもう嬉しかったです。コミティアって
こういうのがあるからすごく好きです。うふふ。

これまでの感想も、掲載されていないものもちゃ
んと読んでいます。

感想をいただけるって本当に嬉しいです……

タイトルの「小さな世界」は
二人が子供であることだっ
たり、咲が今後、写真に収
められたあの一瞬の世界だ
けを希望として生きていくこ
とにかけています。

昔から大人によって振り回
される子供の話に弱くて、
どうしても子供＝善、大人
＝悪みたいに思っちゃうので
これもそんな色が出ている
気がします



「咲」という名前が「消え
ないひかり」の主人公・咲
と同じになっているのは偶
然です。

友人に指摘されるまで
全く気付きませんでした。
実は、元々は咲子とい
う名前だったのですが、
私がど忘れして
咲になりました。



「小さな世界」
42ページ (6ページカラー)
400円
2011/09/11発行
残部少

「窒息少女」

68ページ(4ページカラー)

600円

2012/04/01発行

在庫有



こちら写真を使用し
ています。

モデル経験のある友
人に頼んで表参道で
撮影したら、通行人が
彼女を芸能人と勘違
いして面白かったで
す。

以前は人通りが極
端に少ない場所で撮
影したのでよかったの
ですが、表参道は平
日休日問わず賑わっ
ているので、

写真にも通行人が写り
放題で大変でした。



今回の話は、高校生
の時ノートに描いた話
を元に描いています。
(特に断切缺とCo2は
忠実に描きました)

元々は短編には繋が
りがなくて、それぞ
れ別の主人公がいた
のをひなこと柚の話
にして更に二人に接
点を持たせました。

一応、これも百合作
品として扱っています。
恋愛絡みは一無い
に等しいので、そう
いうのを見たい方は
ものたりないかもし
れません。

でも、これは女二人
じゃないと出来上がら
ない価値観だと思います！

そういう意味で、ち
ゃんと百合だと思っ
てます



